

東日本大震災並びに福島原発被災者を悼む

JSDNNM 会員へのメッセージ

平成 23 年 4 月 16 日

日本神経筋疾患摂食・嚥下・栄養研究会（JSDNNM） 代表世話人 湯浅龍彦

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災、並びに福島原子力発電所大事故に被災された方々に心よりお見舞い申しあげますと共に、遭難し逝去された御霊のご冥福を祈ります。

日本神経筋疾患摂食・嚥下・栄養研究会（JSDNNM）会員にあられましても、自らが、或いは御家族が被災された方もありましょうし、施設が損害を受けられた方もありましょう。今回の震災が尋常のものでない証拠は、1 か月を過ぎても未だに日を追う毎に新たな問題が噴き出て来て、一向に収まる気配がないところに現われています。紛れもなくこの震災は東北地方の問題というには余りにも大きく、わが国の命運を変える大きな機転になる大災害です。こうした時、当研究会が一体何ができるか、まずは途方に暮れて、戸惑うばかりではありますが、しかし、わが会員の中には早速現地を訪ね、実態を見聞し、大災害の中に苦しむ人々に心を寄せ、如何にすれば役立てるか、どうにかして被災者を救いたいと心を砕く仲間がいます。

本研究会は毎年発展を遂げて、現在はわが国の隅々まで広く会員が分布しております。勿論東北地方にも多数の会員がいらっしゃるわけで、そうした会員を通して、また、全国の会員である仲間の助けと英知をお借りして、塗炭の苦しみの直中になる人々をお助けできればと願います。被災者が現在何を必要とされているのか、被災地の情報をお持ちの方は情報を、そして、会員お一人お一人が考えられて具体的な対策案をご提案願いたく存じます。本研究会として何ができるのか皆で知恵を出し合いましょう。

JSDNNM 会員としてはまずは、研究会会員として何ができるか、次に東北の被災者のために何ができるか、そして、日本の国民ために何ができるかという 3 つの視点で考えて参ることが大切です。会員各位の頑張りを期待します。